

06 ゼロから育てる建設人材 / 株式会社新庄砕石工業所(山形県)

概要

採用はもはや全産業、全国での競争と認識しています。当社は、文系の学生など、建設関係の知識がなくても人材育成に力を入れて養成し、地方の中小建設業でも大卒エントリーを獲得しています。

背景

建設業界では採用競争が激化しており、工業系など建設知識に明るい学生の確保は困難を極め、戦略的に破綻しています。学部・学科にこだわると、高校生は県内の事業者で取り合いとなります。さらに、大学生は大手ゼネコンや官公庁への就職希望者が多く、地方の中小企業に関心が向きづらい状況です。

このことから、出身学部・学科にこだわらない採用に舵を切り、自社でゼロから建設人材を育てることにしました。

取組内容

採用対象を大学生中心としています。精神面での成熟が比較的進んでおり、「仕事に対する心構えを教える」という点では高校生より容易です。現場監督としての職人との円滑な関係作りなど、マネジメント力の早期開花が期待でき、実務面の教育へ注力が可能です。

入社前の資格取得の推奨や入社後のOJT、研修会への参加を通じて、業界人として必要な知識を身に付けてもらいます。

入社前教育

内定の段階で、施工管理技術検定(一次)合格を目指してもらい、入社前に建設業の言葉に慣れてもらいます。受験に係る費用は当社が負担し、合格すれば入社時から資格手当を給与に上乗せするなどのインセンティブを与え、積極的に学びたくなる状況を作ります。

入社後教育

入社後の社内研修はもちろんですが、他社との建設業勉強会に複数回参加してもらい、発表の場にも立ってもらいます。勉強会を通じて他社の事例を知るとともに、自らの発表準備の過程で業界情報を深掘りし、知識を得る機会となります。

トレーニングセンターの開設・運営

当社の立地地域には、建設機器の資格を取得できる講習施設がありません。それが資格取得者の滞りにつながると考え、教育環境整備の一環で、自社でトレーニングセンターを開設しました。



トレーニングセンターの様子

Another ACTION!

積極的な情報発信の取組

当社の取締役がインフルエンサーとなり、YouTube「石男くんの建設チャンネル」をはじめ、X(旧Twitter)、TikTok、Instagramといった媒体で、建設業界に関わる様々なテーマについて、定期的に情報を発信しています。

SNSはそれぞれ相性がありますが、何より始めてみることです。少しキャッチーな言葉を用いつつ、多くの人の目に止まるように意識しています。

ネガティブな投稿が伸びやすいですが、それでは本業にマイナスになると考え、できるだけタメになるアクションプランまでの提示を心掛けています。



石男くんの建設チャンネルサムネイル(一部)

成果

採用面では毎年200名ほどのエントリーがあり、取組開始から通算15名を採用できました。離職者もおらず、新入社員の戦力化を図れています。

代表者 柿崎 武男
住 所 山形県新庄市十日町1574-3
連絡先 0233-23-5077

事業内容 総合建設業(公共中心)
従業員数 約100名
設立年月 1968(昭和43)年9月